

1 働く場の確保と人材の育成

めざす将来の姿 (事務局の案)

- 成長産業、集客観光、福祉、物流などの企業誘致や、地元就業の促進により、市民生活を支える基盤である安定した雇用の場の確保をめざします。それにより、予想される労働力の減少を緩和し、まちの活力を支えます。

- 多様な働き方ができる社会の形成や就業能力の向上により就業に挑戦できる仕組みをつくり、高齢者、女性、若年無業者など市民が働くことを通じ、能力を発揮することができる「全員参加型社会」をめざします。

2 産業の振興による地域社会の活性化

(2) 暮らしを支える企業の育成

めざす将来の姿 (事務局の案)

- 介護・福祉、子育て、職業訓練、地域社会の商業機構の弱体化、地域交通など個人や地域の暮らしに関わる社会的な課題に対し、民間の知恵や事業手法を通じて解決する社会的企業を起業しやすく、継続して活躍できる社会をめざす。

- また、通常の労働市場に促すきっかけとなる仕事の提供と職業訓練を同時に行う場である「地域中間労働市場」を形成し、若年無業者への就業支援やスキルアップを担える場をつくることをめざします。

3 先進港神戸と神戸空港の機能強化

めざす将来の姿（事務局の案）

- ①国際水準の質の高い港湾機能と多様な物流ニーズに対応できる機能面、②多頻度、多方面、高質なサービスを有する 1) 基幹航路・2) アジア域内航路・3) 瀬戸内の内航フィーダー網・4) 高速道路網などの物流網を結ぶことにより、神戸港が世界と西日本をつなぎ産業を支えるハブ港でありつづけることをめざします。
- 世界と接する臨海部において、既存資源の活用とともに、時代に対応した高度な物流機能および次世代の神戸を担う産業の集積をめざします。
- 関西のメガ・リージョンにおける都市基盤の一つとして、神戸空港を機能強化することにより、知の拠点形成や集客・交流の促進をはかるとともに、神戸市及びその周辺地域における航空利用者の利便性の向上をはかります。

5 「知の集積」による新たな価値の創造

めざす将来の姿（事務局の案）

- 産学官の連携により、先端医療技術の研究開発拠点や医療関連産業が一層集積し、イノベーションを加速させ、理化学研究所などの生命科学分野の世界的な成果を活用し、市民の健康づくり、既存産業の高度化、新産業の創造をめざします。
- さらに、国家プロジェクトである世界最高速の次世代スーパーコンピュータを中心に研究教育拠点が形成され、知と技術を融合し、ものづくりなど多様な分野において地元企業の高度化に役立てます。
- 神戸の研究開発拠点と企業の集積及び関西メガ・リージョンにおける集積に加えて、神戸の居住環境の良さを活かし、世界から研究者などの知的人財の集積をはかり、グローバル経済のなかで連携と競争を行う世界的なバイオメディカルクラスターとして「知の集積」の形成をめざします。